

# 佐伯市ICT活用工事試行要領の改訂 (令和5年10月改訂)

---



# ICT活用工事の概要

- ICT活用工事は、①～⑤の施工プロセスにおいて、ICT施工技術(3次元データ)を活用
- 生産性の向上(省人化、省力化)、品質の向上、安全性の向上が図られる
- 実施した場合の費用計上や工事成績評価は、下記のとおり

ICT活用工事



従来方法



## ICT活用工事(①～⑤)、部分活用(②、④、⑤は必須)

### ●実施した場合の費用計上

- ① 3次元起工測量……………見積計上
- ② 3次元設計データ作成……………見積計上
- ③ ICT建設機械による施工……………歩掛
- ④⑤ 3次元出来形管理、納品……………歩掛(率補正) or 見積

### ●工事成績評価における評価

- ①～⑤全てのICT施工技術を活用……………創意工夫で2点加点
- 部分活用の場合……………創意工夫で1点加点

※③ICT建機による施工を行う場合は、「システム初期費」、「保守点検費」を共通仮設費に計上  
 ※④⑤の率補正は、面管理を実施した場合、共通仮設費補正係数1.2 現場管理費補正係数 1.1  
 ただし、工事発注後、受注者からの見積と比較し、安価な方を採用するものとする

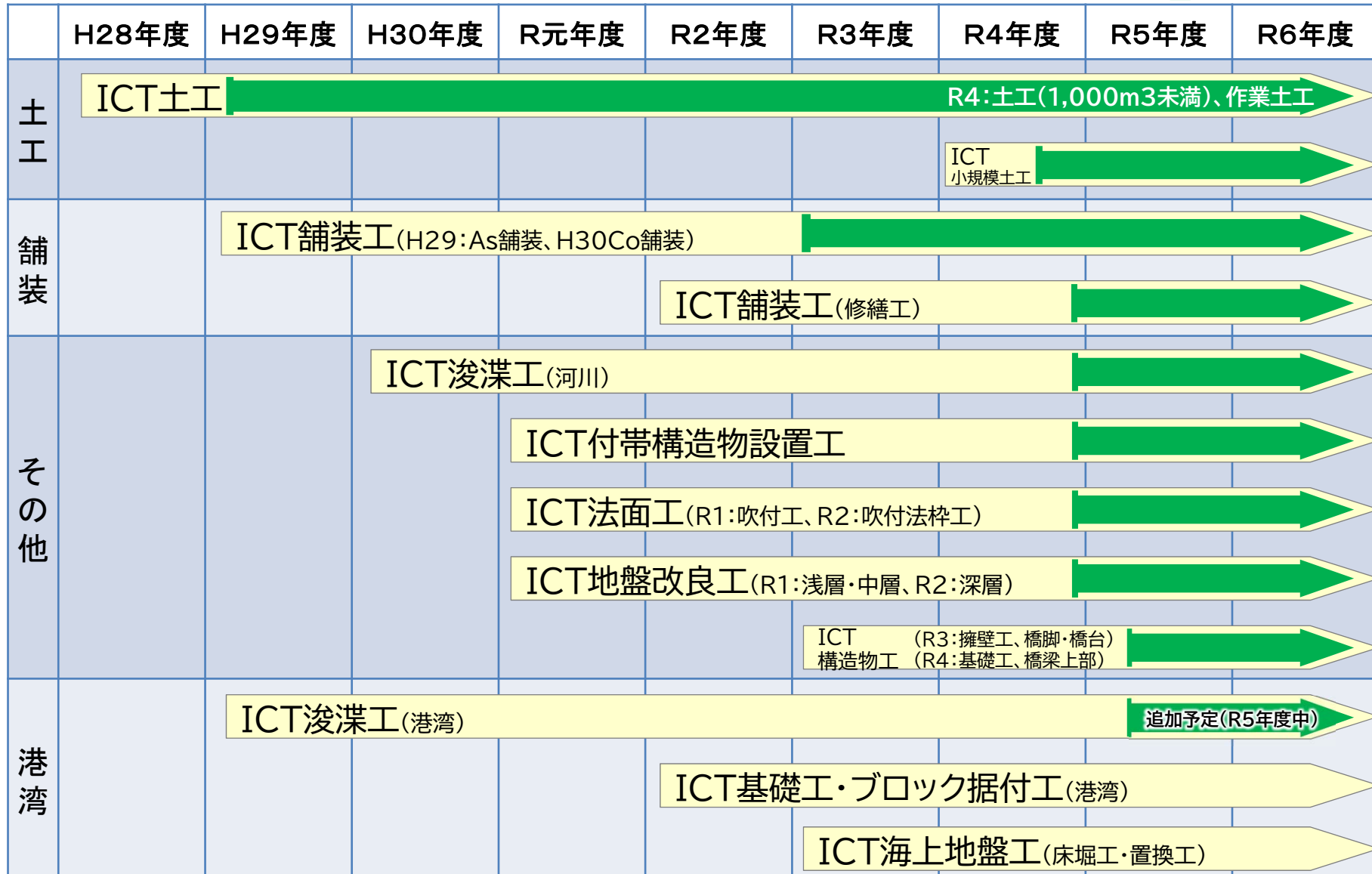
※土工1,000m3未満、小規模土工は、実施要領を参照

# 試行要領 改訂概要

## ① 対象工種の拡大 (擁壁工、基礎工、橋脚・橋台、橋梁上部工、港湾浚渫工(予定))

国土交通省

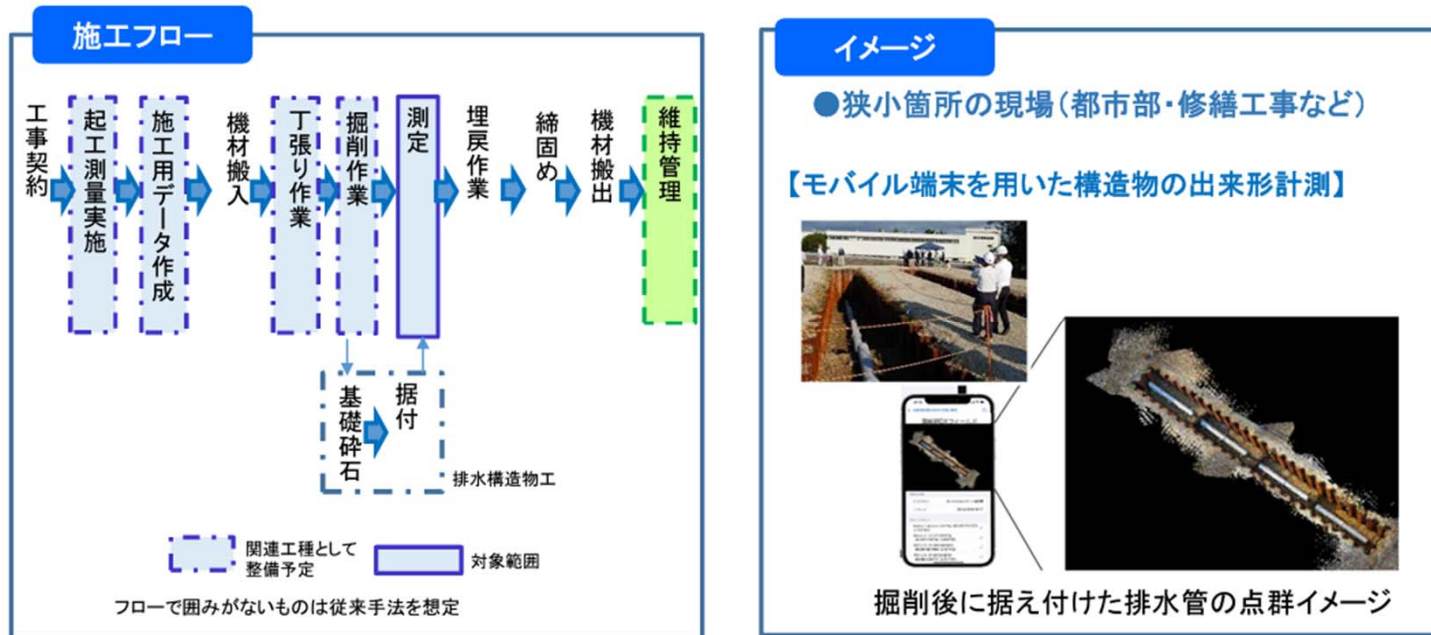
大分県



# 試行要領 改訂概要

## ② 土工1,000m<sup>3</sup>未満での「管渠、暗渠、管路工」の工種追加

○ 土工1,000m<sup>3</sup>未満とあわせて「管渠、暗渠、管路工」を実施する場合、出来形管理でICT活用可



## ③ 作業土工(床掘)、小規模土工の適用範囲の変更等

○ 作業土工(床掘)と小規模土工の適用範囲について、下記のとおり変更

【作業土工(床掘)】 : 平均施工幅1m以上 → 平均施工幅2m以上

【小規模土工】 : 土量100m<sup>3</sup>又は平均施工幅1m未満 → 土量100m<sup>3</sup>又は平均施工幅2m未満

○ 小規模土工は、「作業土工」との考え方となり、出来形管理は不要

# 試行要領 改訂概要

## ④ 出来形管理・納品の積算方法の変更

○ 出来形管理・納品の積算方法について、諸経費の率補正と見積を比較し、安価な方を採用（発注者指定型は、当初発注時は④⑤の費用計上は行わず、変更設計時に、諸経費の率補正と受注者からの見積書を比較して計上）

- ICT施工において、3次元座標値による出来形管理や3次元データ納品等に要する経費については、令和2年度より、共通仮設費率、現場管理費率に補正係数を乗じることで計上している。
- その後、地域を地盤とする一般土木C、D等級企業での取組が拡大しているほか、3次元座標値による出来形管理等の内製化も進んでいる。
- **より実態に即した積算となるよう、当面、補正係数により算出される金額と見積りとを比較し、適切に費用を計上する運用とする。**



現行		当面の運用改善	
項目	計上項目	積算方法	積算方法
① 3次元起工測量	共通仮設費	見積徴収による積上げ	見積徴収による積上げ
② 3次元設計データ作成	共通仮設費	見積徴収による積上げ	見積徴収による積上げ
③ ICT建機施工 (保守点検) (システム初期費)	直接工事費	損料または賃料	損料または賃料
	共通仮設費	算定式による積上げ	算定式による積上げ
④ 3次元出来形管理 ⑤ 3次元データ納品	共通仮設費	補正係数の設定	定額による積上げ
	共通仮設費	補正係数の設定	定額による積上げ
その他 外注経費等	現場管理費	補正係数の設定	

共通仮設費補正 1.2

現場管理費補正 1.1

**当面、補正係数により算出される金額と、見積りとを比較し、適切に費用を計上する運用とする。**

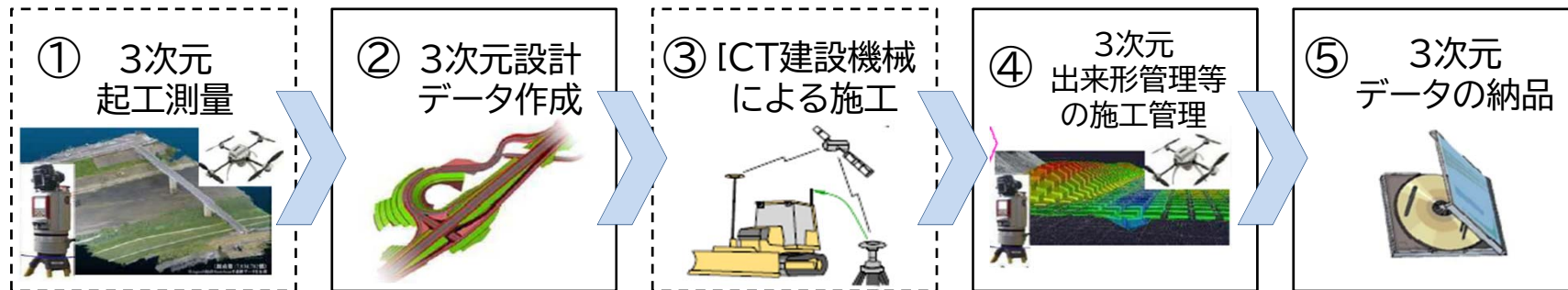
# ICT活用工事の適用範囲・積算基準 1/3



工種	発注形式	ICT活用工事				
		① 3次元起工測量	② 3次元設計データ作成	③ ICT建機による施工	④ 3次元出来形管理	⑤ 3次元データ納品
土工 (5,000m <sup>3</sup> 以上)	発注者指定型	○ 面計測	●	○	● 面管理	●
		見積計上	見積計上	標準歩掛	率補正（面管理の場合）or見積	
土工 (1,000～5,000m <sup>3</sup> )	受注者希望型	○ 面計測	●	○	● 面管理	●
		見積計上	見積計上	標準歩掛	率補正（面管理の場合）or見積	
土工 (1,000m <sup>3</sup> 未満)	受注者希望型	—	●	○	● 断面管理	●
		(実施した場合は、見積計上)	見積計上	標準歩掛	(面管理を実施した場合は、見積計上)	
小規模土工 土量100m <sup>3</sup> 又は幅2m未満	受注者希望型	—	●	○	—	●
		—	見積計上	標準歩掛	—	
作業土工 (床堀) 幅2m以上	単独発注なし	—	●	○	—	●
		—	見積計上	標準歩掛	—	

●必須、○選択可

# ICT活用工事の適用範囲・積算基準 2/3



工種	発注形式	ICT活用工事				
		① 3次元 起工測量	② 3次元設計 データ作成	③ ICT建機 による施工	④ 3次元出来形 管理	⑤ 3次元データ 納品
法面工	受注者希望型	○ 面、断面計測	●	—	● 面・断面管理	●
		見積計上	見積計上	—	率補正（面管理の場合）or見積	
付帯構造物 設置工	単独発注なし	—	●	—	● 面・断面管理	●
		—	見積計上	—	率補正（面管理の場合）or見積	
擁壁工	受注者希望型	○ 面、断面計測	●	—	● 面・断面管理	●
		見積計上	見積計上	—	率補正（面管理の場合）or見積	
地盤改良工	受注者希望型	○ 面、断面計測	●	○	● 施工履歴	●
		見積計上	見積計上	標準歩掛	—	
基礎工	受注者希望型	○ 面、断面計測	●	—	● 面・断面管理	●
		見積計上	見積計上	—	率補正（面管理の場合）or見積	

# ICT活用工事の適用範囲・積算基準 3/3



工種	発注形式	ICT活用工事				
		① 3次元 起工測量	② 3次元設計 データ作成	③ ICT建機 による施工	④ 3次元出来形 管理	⑤ 3次元データ 納品
河川浚渫	受注者希望型	○ 音響測深	●	○	● 音響測深、施工履歴	●
		見積計上	見積計上	標準歩掛	率補正（音響測深の場合）or見積	
舗装 (1,000m <sup>2</sup> 以上)	受注者希望型	○ 面計測	●	○	● 面管理	●
		見積計上	見積計上	標準歩掛	率補正（面管理の場合）or見積	
舗装工 (修繕工) (5,000m <sup>2</sup> 以上)	受注者希望型	○ 面、断面計測	●	○	○ 施工履歴	●
		見積計上	見積計上	標準歩掛	—	
橋梁上部工	受注者希望型	○ 面、断面計測	●	—	● 面・断面管理	●
		見積計上	見積計上	—	—	
橋脚・橋台	受注者希望型	○ 面、断面計測	●	—	● 面・断面管理	●
		見積計上	見積計上	—	率補正（面管理の場合）or見積	